

世界一の小学生ゴルフアーク 見つめる先は「五輪の金メダル」

兵庫小学校3年生

福井 誠ノ介さん

今回は、7月12日(月)〜16日(金)にアメリカ カリフォルニア州で行われた「2021世界ジュニアゴルフ選手権

7〜8歳の部」で13アンダーという輝かしい成績で優勝された福井 誠ノ介さん(以下「福井」表記)にお話を伺いました。

——優勝おめでとうございます。アメリカでのゴルフは、どうでしたか?

福井 アメリカと日本のコースでは芝のくせが違い、同じクラブで打っても、同じように飛ばないので、調節が難しかったです。

でも、「ナイスショット!」と自分のことのように嬉しそうに声をかけてくれる選手ばかりで、楽しくゴルフが出来ました。

——優勝して、何かご褒美はもらえましたか?

福井 パパに肩車してもらいました。「パパは誠ノ介が世界一になって肩車できる日を夢見てるから。それまで肩車はしないから、がんばろうね。」と、約束していたので、肩車してもらえた時は、いつもと違う景色が見られて、嬉しかったです。

——念願の「肩車」が叶ったんですね。今、夏休み中ですが(取材日8月4日)、どのように過ごしていますか?

福井 夏休みでも365日欠かさずゴルフの練習はしています。

空いた時間に友達や妹とゲームをして遊んだり、宿題をします。テレビは、たまにスポーツバラエティやお笑いを見ています。ゴルフをしているときと、みんなで遊んでいるときが一番楽しいです。

——ちなみに、好きな科目と嫌いな科目はありますか?

福井 好きな科目は体育と国語です。夏休みの宿題で読書感想文が出ているので、頑張っています。嫌いな科目は算数ですが、ゴルフのスコアの計算は得意です!

——最後に、今後の目標を教えてください。

福井 20歳までには、マスターズを連覇して、大好きな松山英樹選手が取れなかったオリンピックの金メダルを取りたいです!

——福井さん、今日はお話ありがとうございました。将来、金メダルと共にまぶしい笑顔を見せてくれる日を、職員一同お待ちしております!

